

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・言葉遣いが不適切であったり、なれ合いの声かけになってしまう事がある。	・接遇の改善。 ・認知症の特性を理解した上での声かけが出来るようになる。	・会議にて毎月振り返りの機会を持つ。	6ヶ月
2		・レクリエーションの充実。	・各個人に合わせたレクリエーションの提供。 ・月に1回全体で楽しめるレクリエーションの提供。	・朝の体操 ・季節に合わせた貼り絵、工作、おやつ作りなどを楽しむ。 ・3密を回避したドライブや外出機会を感染症対策を徹底した上で増やしていく。	3ヶ月
3		・重度化や終末期に向けた方針の共有と支援。	・本人の意思や思いを生活の場で再確認しながら看取りを行っていく。	・家族や本人の意向を聞き取り、添うような看取りケアを実施していく。	3ヶ月
4		・災害時、非常用発電機の取り扱いが出来る職員が少ない。	・非常用発電機の取り扱いが出来るようになる。	・定期的に取り扱いができるように訓練をする。 ・全職員が出来るようになる。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。